

樺太

工藤信彦
Kudo Nobuhiko

サハリン・樺太史研究会

第33回例会

～領有と形成～

2015年3月14日(土)

北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W201 室



ISBN978-4-88344-170-9

C0095 ¥2500E

定価：本体 2500 円 + 税

外地であり内地であった「植民地」をめぐ

外地であり内地であった「植民地」をめぐ

植民地



研究報告 13:30~15:00

・工藤信彦 (『わが内なる樺太』石風社、2008年)

「明治40年8月実施

東京地学協会主催「樺太巡検旅行」のこと」

休憩 15:00~15:15

書評会 15:15~17:00

・書籍：中山大将『**亜寒帯植民地樺太の移民社会形成**』

(京都大学学術出版会、2014年)

・評者：白木沢旭児 (北海道大学)

(サハリン・樺太史研究会会長、北海道大学文学研究科長)

三木理史 (奈良大学)

(『移住型植民地樺太の形成』植書房、2012年)

亜寒帯植民地樺太の移民社会形成

中山大将 著

- ・ 会員以外の方もご自由にご参加ください。
- ・ 書評会には執筆者も参加予定です。
- ・ 例会後に懇親会を予定しております。希望者は当日募ります。
- ・ お問い合わせ：サハリン・樺太史研究会

<http://sahalinkarafutohistory.com/home.html>

* HP のお問い合わせフォームをご利用ください。

背景写真：工藤信彦『わが内なる樺太』石風社、2008年
中山大将『亜寒帯植民地樺太の移民社会形成』京都大学学術出版会、2014年



アイデンティティ多住した人々は、この地に移住した人々は、「拓殖」を通じて自らを「日本人」としてどう位置付けようとしたのか。